

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

日 時：平成28年2月3日（水） 10時00分から 11時30分まで

場 所：習志野市役所仮庁舎 4 階 委員会室

委員出席者：廣田委員（会長）、清水委員（副会長）、木村委員、布施委員、荒木委員、
佐々木委員、金子委員、鯨井委員、酒井委員、橋本委員、海寶委員、
細川委員、小池委員
（欠席：越智委員、大塚委員）

事務局出席者：遠山企画政策部次長、真田企画政策課長、越川主幹、伊藤主任主事、
柴垣主任主事

- 議 題：1 会長選任
2 副会長選任
3 報告事項
(1) 前期基本計画の進捗について
(2) 市民意識調査結果について
(3) その他

議 事 録：

企画政策課長	開 会 皆様、本日はご多忙の中、ご出席いただき、ありがとうございます。 企画政策課長の真田でございます。 本来ですと、会長に議事進行をお願いするところでございますが、昨年7月末に皆様方の任期が終了し、新たに、8月1日付けをもちまして、委嘱させていただきましたことから、条例に基づき、会長を本日の会議で互選していただくこととなります。それまでの間、私が進行を務めさせていただきますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。 只今より、平成27年度第一回長期計画審議会を開会いたします。 さて、本審議会は、習志野市長期計画審議会条例 第5条 第2項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は13名の出席をいただいておりますので本審議会は成立いたしております。 本日の議事録につきましては、事務局にて調整し、会長の決裁を持って、作成することとさせていただきます。 また、本審議会の公開・非公開につきましては、平成17年度 第1回長期計画審議会において、原則公開と決したところであります。 本日の傍聴者は1名となりましたので、ご承知おきください。 それでは、傍聴者の入室を許可させていただいて宜しいでしょうか。 ＜一同了承＞
企画政策課長	それでは、傍聴者の入室を許可いたします。傍聴者におかれましては、会議を傍聴するにあたり、注意事項をお守りいただきますようお願いいたします。

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

企画政策課長	1. 会長選任 それでは、これより、議事に入ります。議事の1は、会長選任 です。 本審議会条例 第 4 条 第 1 項では、「委員のうちから互選する」こととなっております。「互選」につきましては、選挙や推薦といった方法がございますが、従来行ってまいりました通り、委員の皆様からの推薦という方法でよろしいでしょうか。 ＜「異議なし」の声あり＞
企画政策課長	はい。それでは、推薦により会長を選任いたします。ご意見がございましたらお願いいたします。はい、海寶委員どうぞ。
海寶委員	はい。今期の審議会におきましても、主に平成26年度からスタートしております、基本構想と前期基本計画の進捗にかかる審議となりますことから、会長につきましては、計画の策定当初から学識経験者として携わっておられます廣田委員が適任かと考えますが、如何でしょうか。
企画政策課長	はい、ありがとうございます。他にご意見はございますでしょうか。 ＜意見無し＞
企画政策課長	ただ今、海寶委員より、廣田委員が適任ではないかとのご意見を頂戴いたしました。皆様、如何でしょうか。 ＜「異議なし」の声あり＞
企画政策課長	皆様のご賛同を頂いたところでございますが、廣田委員如何でしょうか？
廣田委員	謹んでお受けいたします。
企画政策課長	それでは、廣田委員 会長席へご移動をお願いいたします。
廣田会長	ただいま、皆様のご推挙によりまして、習志野市長期計画審議会の会長を仰せつかりました日本大学生産工学部の廣田でございます。皆様からご推薦、ご賛同賜りましたことに対しまして、心から御礼申し上げます。会長を拝命いたしますことは、改めて身の引き締まる思いでございます。今後とも委員の皆様のご指導、ご協力を頂戴しながら、本審議会の運営が円滑に進みますよう努力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。
企画政策課長	ありがとうございました。それでは、以後の議事につきまして、会長をお願いいたします。
廣田会長	2. 副会長選任 では、続きまして、議事の2 副会長の選任です。副会長につきましても、条例上「互選」となっております。選任方法について、どなたか、ご意見ある方はいらっしゃ

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

	いますか。はい、海寶委員どうぞ。
海寶委員	ただ今、委員の皆様からの推薦により、廣田会長を選任したわけでございますので、ここは、廣田会長に一任するということで、いかがでございましょうか。
廣田会長	はい。ありがとうございます。他にご意見はございますか。
	<意見無し>
廣田会長	ただ今、海寶委員より、会長一任というご意見をいただきました。如何でございましょうか。
	<「異議なし」との声あり>
廣田会長	はい。ありがとうございます。 それでは、会長一任ということで、ご賛同いただきましたので、私からご指名をさせていただきますと思います。これまでの慣例では、長期計画審議会の副会長は議会選出の総務常任委員長さんが選任されておりましたことから、この度も、総務常任委員長であります、清水委員に副会長をお願いいたしたいと思いますがいかがでございましょうか。
	<「異議なし」との声あり>
廣田会長	皆様のご賛同を頂いたところでございますが、清水委員如何でしょうか。
清水委員	謹んでお受けいたします。
廣田会長	それでは、清水委員 副会長席へご移動をお願いいたします。清水副会長、よろしくをお願いいたします。
	3. 報告事項 (1)前期基本計画の進捗について
廣田会長	続きまして、議事の3、報告事項に入りたいと思います。本日は2件の報告事項がございます。1件目は「前期基本計画の進捗について」でございます。お手元の資料の詳細につきまして、事務局から説明を頂き、その後、皆様からご質問、ご意見等を頂ければと思います。それでは、事務局から、説明をお願いします。
	<資料 1 に基づき事務局より説明>
企画政策課長	はい、ありがとうございました。只今のご報告について、何かご質問、また、ご意見等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。
酒井委員	東邦大学の酒井と申します。 1点お伺いしたいのですが、健康診断の受診率について、年代別の資料はございますか。

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

企画政策課長	担当課に確認させていただきます。
酒井委員	いわゆる働き盛りの40代、50代は職場での検診で済みます傾向があります。年代別のデータがあれば、60代、70代はかなりの受診率になるのではないかと思います。
廣田会長	資料が用意できましたら、ご提示いただきたいと思います。 その他ございますでしょうか。
鯨井委員	資料に受益者負担の文言がありますが、PPP・PFIといった事業の発注予定があるかと思いますが、何件くらい予定しているのか、分かれば教えていただきたいと思います。
企画政策部次長	PFIを活用した公共施設の建設について、本市ではこれまで具体的に取り組んだことはございません。現在、計画上明示されているのは、基本計画までできあがった大久保地区の公共施設再生です。一定の範囲の公共施設を、駅前の市民会館を中心とした施設に統合するというもので、こちらのPPP・PFI活用の方向性は決定しています。事業者選定はこれからです。大久保地区のように複数の施設を統合するという手法、単体での建替、改築等、様々な種類があるかと思いますが、現在決定しているのは大久保地区公共施設再生事業のみです。
廣田会長	今月11日に基本説明会があるようですので、ご興味のある委員はご出席いただければと思います。その他ございますでしょうか。
佐々木委員	文教常任委員長の佐々木です。施策評価について、事業担当部が自己評価しているようですが、企画政策部での評価、若しくは外部評価といった考え方はお持ちでしょうか。
企画政策課長	関連事務事業についての評価は、進捗状況について実施予定事項が完了したものはA、実施過程はB、着手段階がC、検討段階はD、未着手をEとしていますが、担当が進捗を評価しています。現状の評価方式については、外部評価を入れる予定はありません。
企画政策部次長	基本的には担当課評価を行っております。成果が示されていないものについては企画政策課とヒアリングして評価を入れています。ご指摘のとおり、内部的評価でとどまっていいていいのか、評価そのものの正当性が問われているところですが、外部評価の導入も有効な手法として考えていかなければならないと思います。
佐々木委員	指針として、例えば市民一人あたりの効果等、細かい単位にさせていただくと、他市との比較ができますので、ご検討いただきたいと思います。
廣田会長	その他ございますでしょうか。
小池委員	施策評価は非常に分かりやすいと思います。ただ、進捗状況をみると、Aが並んでいるケースが多く、これでは意味がありません。財源がない中ですので、BやCがあっても仕方がないので、正直な評価を出して、外部の評価を受けていったら、より解りやすいものになるのではないのでしょうか。

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

企画政策課長	各事業については、本来的には事務事業評価が必要かと思われます。ただ今回は事業の進捗状況の評価しており、年度で実施すべきことが実施されているかということについて確認しているものでございます。本来的な事務事業の評価についても課題であります。
廣田会長	その他いかがでしょうか。
酒井委員	施策評価表の7ページについて、実際の数字はお判りでしょうか。分母と分子の数についてです。
企画政策課長	成果指標の出し方については、法人市民税の設立・設置・転入届数と廃止・転出・休業の数の割合の差で出しています。実数は後程ご報告させていただきます。
酒井委員	35ページの習志野文化ホールの助成費、次年度への対応について、コストの方向性は縮小、成果は拡充となっているのは分かりにくいのでご説明いただきたいと思います。
企画政策課長	財団から市への施設の寄付があり、26年度は、27年度から指定管理者制度を導入する準備としてとらえています。指定管理者制度を利用しコストを下げる中で、拡充した事業実施をしたいという担当課からの表記となっています。
廣田会長	はい、それでは、次の議題もありますので、お時間の都合上、この辺に留めたいと思います。事務局におかれましては、本日頂いたご意見をぜひ、参考にさせていただき、現在進行中である、前期基本計画のPDCAにおけるチェック、アクションに活かしていただきたいと思います。
	(2)市民意識調査結果について
廣田会長	それでは続きまして、報告事項の2つ目、「市民意識調査結果の報告について」事務局より、説明をお願いいたします。
	＜資料2に基づき事務局より説明＞
廣田会長	はい、ありがとうございました。只今の報告について、何かご質問、また、ご意見等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。
佐々木委員	資料の6ページ、住みにくいとやや住みにくいと答えた少数意見について、分析はされていますでしょうか。
企画政策課長	住みにくいと考えている人の中で、交通が不便という意見が出ています。一方、住み続けたいという理由の二つ目に交通が便利というものがあります。転出した、住みにくいという方の10%は交通が不便といっています。そう感じる理由については生活基盤が遅れている、買い物が不便というご意見がございます。地域格差もありますが、其々の感覚に基づくものであり、利便性についての評価は2分しているのだろうと考えております。

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

佐々木委員	マイナスイメージの方の意見を抽出し、お考えいただきたいと思います。
鯨井委員	38.5%という今回の回答率は、これまでと比べてどうなのでしょう。 また、まとめ方が前回と異なっていると思いますが、わかりやすくなっています。また、これらの報告はどのようなところで配布されているのでしょうか。まちづくり会議で配布し対応しているのか、というところをお伺いしたい。 問25について、転入時にどのような対応をしているのか。町会での対応はどのようなものか把握できていますか。また町会への未加入による弊害は出ているのかお伺いしたいと思います。
廣田会長	「資料の使用方法について」と「町会の入会方法について」の大きく2点ということによろしいでしょうか。
企画政策部主幹	例年20歳以上の市民を対象に実施していましたが、今回は15歳以上ということで対象を拡大しているところの変更となっています。6月頃に日本年金機構の年金番号の流出報道があった影響か、今までと比べると回答率が低く出ております。有効回答数は満たしており問題はありません。町会の関係は、転入時に町会加入を呼びかける連合町会からのチラシを配布しております。未加入によって実際困っていることがあるかということは把握しておりません。
企画政策部次長	町会・自治会の加入率を高めていこうとしているかと思います。高齢者の見守りや、児童虐待の防止などまちづくりの担い手として町会・自治会の役割を高めていく必要があるかと思います。 配布方法については、各部局に配布し、今後の取組の参考にしております。市民についてはホームページ、各図書館への設置でのお知らせのみで、まちづくり会議での配布にまでは至っておりません。
鯨井委員	地域の問題が把握できると思いますので、まちづくり会議で配布し、地区の問題を指摘していくのもよいかと思います。
荒木委員	質問の多くで選択肢が5択あり「わからない」という選択肢を設けていますが、この公共施設に関しては、「わからない」がありません。4択になっており、なぜ「わからない」を設けなかったのでしょうか。
企画政策課長	各担当課と協議した中で、質問事項を決めております。「わからない」という選択肢がないことについて、特に他意、恣意的なものはありません。担当課協議の中で決まったものであります。
荒木委員	「わからない」を設けなかった場合、ネガティブな意見は選びにくくなります。統計上片寄りが出ます。次回は「わからない」という選択肢を入れた方が統計上の偏りが無くなると思います。
布施委員	アンケートの中で、防災、高齢者施策、子育て施策の3つの施策が重要と出ています。この3つの施策の満足度を把握されているのか伺います。
企画政策部主幹	各施策の満足度については、116ページに掲載しています。健康づくりの施策が1番、2番が環境の施策、3番目に危機管理・防災・防犯について、満足度が高

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

	い施策となっています。
廣田会長	その他いかがでしょうか。
清水委員	アンケート調査の17ページ、対象の年齢構成で60代が圧倒的に多く、全体の5割弱が高齢者です。30代までの回答者が全体の4分の1程度です。地域総合戦略の中で、いかに若者世代に住んで頂けるかが問題となっておりますので、アンケート調査の取り方として、30代までの層を手厚くして、1,000 人くらいになるようしていただき、若者の声を拾っていただきたいと思いますが、どのようにお考えでしょうか。
企画政策課長	今回のアンケートについては、無作為抽出により 3,500 名にアンケートを配付しているものでございます。回答の割合が少ないということもありますが、作為的に市民意識調査という位置づけにおいて、恣意的な抽出の仕方をするかということとは、検討させていただきたいと思います。
酒井委員	東邦大の酒井です。資料をどう使うかというところで意見があります。150ページと151ページ、公共施設の利用頻度の表を見ると、利用が少ない施設がありますが、これで判断されると間違ってしまうと思います。実際の利用率を算出するとよいのではないのでしょうか。多様な側面、相関関係を見ていただきたいと思います。
廣田会長	その他いかがでしょうか。
	<意見無し>
廣田会長	無いようなので、私の方から1点お願いがあります。公共施設に関する市の方策について、利用していない公共施設の売却というものが一番評価を受けていたと思います。長期計画審議会で重要な示唆をしているのではないかと思います。安易に売ること、政策ができる機会・場所を失うことにつながりますので、長期的計画に立つて行うもっとも重要なことだと思いますので、ある意味、マイナス方向として重要な意見ではないかと思いました。
	(3)その他
廣田会長	時間も押しておりますので、続きましてその他の議題に入ります。 資料4について、ご説明をお願いします。
	<資料4に基づき事務局より市内3大学生「まち・ひと・しごと」政策提案発表会について説明>
廣田会長	ただいまの説明についてご質問はありますでしょうか。
	<意見無し>
企画政策課長	申し訳ありません。先ほど(1)の前期基本計画の進捗において、清水委員からご質問頂いた設立・設置の数についてお答えいたします。基準値の128%については、25年度の数値で設立が214、廃止が167、その差で128%ということにな

平成 27 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

	っております。26年度実績については、設立241、廃止等185という数値となります。
廣田会長	清水副会長からひとことご挨拶をお願いいたします。
清水副会長	2020年東京オリンピック・パラリンピックまでが大切な期間になるのかと思います。まちづくりは大変重要な問題でありますので、皆様の貴重なご意見をいただきながら、地方創生が実現できるよう、会長を支え、円滑な議事運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
廣田会長	それでは、お時間の都合上、この辺に留めたいと思います。事務局におかれましては、本日、委員の皆さんに頂いたご意見について、今後の参考にさせていただければ、と思います。それでは、最後に、事務局から何かありますか。
企画政策課長	はい。お手元に今月11日に開催されます大久保地区公共施設再生の基本計画説明会のパンフレットを配布させていただきました。お時間のある方はご出席いただければと思います。
廣田会長	それでは、本日の議案は滞りなく終了いたしました。ご協力ありがとうございました。本日はこれにて閉会致します。委員の皆様におかれましては、長時間に渡り、ありがとうございました。 閉 会 11:45 終了